中学校 1年 地理的分野

1 単元 身近な地域の調査 [9時間完了]

2 単元の目標

(1) 身近な地域の様子に興味・関心をもち,意欲的に活動しようとしている。

【興味・関心・態度】

- (2) あま市などの地図や統計資料などを効果的に活用して,あま市の特徴を見いだし,将来について考えることができる。 【思考・判断・表現】
- (3) 愛知エースネットや統計資料を活用して身近な地域の歴史についてまとめることができる。
 【資料活用の技能】
- (4) 縮尺・等高線・尾根線・谷線の概念や地図記号などの地形図の基本的な約束を理解することができる。 【知識・理解】

3 単元について

(1) 単元観

本単元は,市町村規模の地域的特色をとらえる視点や方法,地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付けることがねらいであり,その題材として「身近な地域」を扱う。身近な地域の学習では,生徒にとって生活地域である通学区や市町村規模の範囲を対象として作業的・体験的学習に取り組ませる。そのことを通して,自分が生活している地域に対する理解と関心を深め,地理的な見方や考え方の基礎を育てることと,歴史的な経緯を含めた地域の発展について理解することをねらいとしている。

また、等高線・縮尺・地図記号などを理解して地図を読み取る力を育て、社会生活において地域を理解するために、地図は身近な存在であることとその必要性に気付かせたい。そして、このような活動を通して、日々の生活領域に関する諸事象に関心をもち、現代の地域社会の課題に気付く力を身に付けさせたいと思い、本単元を設定した。

(2) 指導観

本単元である「身近な地域」とは、生徒の生活舞台であると考える。そこで本単元ではあま市をはじめ、生徒の行動範囲で考えられる身近な内容として、周辺市町村(海部・津島地区)の歴史的発展や他の地域とのつながりを学ばせる。現在あま市は、名古屋駅から電車で 30 分という地理的条件もあり、名古屋のベッドタウンとしての意味合いが強くなっている。地元について理解することで、より身近な地域について学ぼうとする意欲を付けさせたいと考えている。

4 指導計画(9時間完了)

段階	学 習 活 動	教師の支援
	第1時 暮らしの中の地図を知ろう。	・ 身近にある様々な地図を事
つ	・ 目的に応じて様々な地図が利用されているこ	前に用意させておき,その地
か	とを知る。	図の特色や利点について考え
む	・ 方位について理解する。	させる。

7	第2・3時 地形図の約束を知ろう。	・ 地図記号の由来をつかませ
-	・ 地図記号について理解する。	る。
か	・ 等高線 , 断面図について理解する。	・ 等高線や断面図について理
		解させる。
む		
	第4時 縮尺による違いを知ろう。	・ 実際の距離と地図上の長さ
	・縮尺について理解する。	の関係を計算して確かめさせ
見	・ 地図は縮尺が違うと,表現方法や利用方法が	る。
	異なることを理解する。	・ 5万分の1と2万5千分の
))		1の地形図を比べ,地図の表
		現がどのように変わるかを読
め		み取らせる。
	第5時 地形図を使って作業をしよう。	・ 土地利用について地形図を
る	・ 土地利用図を作り,土地利用の特色を読み取	用いて読み取らせる。
	る。	・ 寺社の多さから,古くから
		の集落が多いことに気付か
		せる。
	第6時 統計資料を踏まえ、身近な地域の変化の背景	・ 統計資料から前時の土地利
	を考えよう。	用の変化の様子を裏付けさせ
深	・農業を中心に栄えたことを理解する。	る 。
l .,	・歴史のある町であることを理解する。	
め	第7時 現在の地形図と昔の地形図を比較し,変化	・あま市(海部・津島)の地
_	の様子を調べよう。	形図を提示し,身近な地域に
る	・現在の地形図と昔の地形図の特徴をつかむ。	目を向けさせる。
	・ 同じ場所がどのように変化しているか考える。 	・ 土地利用の様子を自分でま
	笠 0 叶 	とめ発表させる。
	第8時 海部・津島について調べよう。	・自分の分野で興味があるH
ļ ,÷	・ 海部・津島について、農業・工業・商業・歴史	Pから必要な情報をまとめさ
広	の分野でインターネットを用いて調べ学習を行う。	せる。
1-12		・ 愛知エースネットで海部・
げ		津島の歴史について調べさ
7	第0時 もまま / 海切り油自りのレナをおうしき	せる。 - 曲米・丁米・トロ・仕 年
る	第9時 あま市(海部・津島)のよさを考えよう。	・農業・工業・人口・生活環
	・ 周辺都市との様々な資料の比較からあま市の	境といった様々な資料から,
	地域的特徴を考える。	あま市のよさを考えさせる。